

第6回（平成27年度）日建連 快適職場表彰の実施報告

日建連労働委員会では、「第6回（平成27年度）快適職場表彰」の表彰式を執り行いました。今回、ご応募いただいた会員企業の優れた取り組みについては、水平展開を図り「作業所労働環境の改善」を推進して参ります。

■制度の目的

- 日建連会員の作業所において、建設業の人材確保・育成に取組む日建連会員にふさわしい快適職場環境の高度化に寄与すること
- 建設業が直面する直近の課題（女性活躍、休日取得、社会保険の加入など）に熱心に取り組んでいること……【第6回（平成27年度）より】

■応募状況

- 募集期間：平成27年12月1日～12月24日
- 応募総数：158件（18社）
- 応募状況：増加は見られなかったものの、応募総数はほぼ同数を推移

■選考結果（平成28年2月5日に選考会を開催）

- 最優秀賞：1件
- 優秀賞：4件
- 特別賞：15件

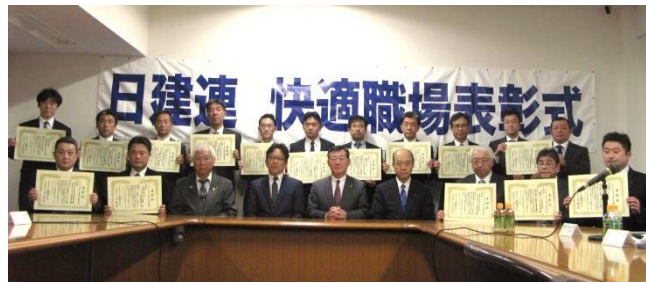
「選考委員会メンバー」（敬称略）

- 委員長 芝浦工業大学 工学部建築工学科 教授 蟹澤宏剛
- 委員 国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室長 長福知宏
- 委員 (一社)建設産業専門団体連合会 会長 才賀清二郎
- 委員 (株)日刊建設工業新聞社 編集局長 横川貢雄
- 委員 (株)日刊建設通信新聞社 編集局長 秋山寿徳
- 委員 (株)日刊建設産業新聞社 編集局長 徳田健一

■表彰式（平成28年3月9日に開催）



（最優秀賞、優秀賞受賞の皆様）



（特別賞受賞の皆様）

「蟹澤選考委員長による講評」

次世代の若者が建設業界に入ってもらえるための就労環境の改善・整備に関して、最先端である現場にて、どのような取り組みをされているかということ念頭に置いて選考を行った。日建連の長期ビジョンで示された今後10年で起こる大量離職に対して、現場からの良い取り組みのボトムアップは、非常に大きいものとなる。今後の取り組みにも期待したい。

「今井労働委員長による挨拶」

女性活躍、休日取得、社会保険加入促進など、建設業界が直面する課題に対して熱心に取り組んで事例も多数報告され、本表彰制度による職場環境の改善に手ごたえを感じている。協力会社からも、後継者探しが喫緊の課題であるという声も上がっているが、建設業全体の魅力アップのためにもそれぞれの作業所が外に向けて取り組みを発信することが我々の使命と感じている。

■受賞作業所の特長的な取り組み

- 全員集合可能な憩いのエリアの設置や揃いのアイテムの作成など、一体感を生む取り組みを実施。
- 土曜一斉閉所や数値目標の設定、取得状況の見える化など休暇取得のための独自の施策を展開。
- 近隣の子供たちを対象とした地域貢献活動の実施。
- 社会保険加入推奨や制限区域の入退場管理のための独自システムの導入。
- 若手の現場管理職、事務職、サブコンの女性職員、常設女性職員による、現場での学習見学会等を開催。
- 「女性パトロール隊」による女性の目線を活かした職場環境の改善。

最優秀賞の紹介 ～(仮称)MM59街区B区画開発計画工事作業所 大成建設(株)～

テーマ：【みなとみらい地区に広がる海と空 地域と一体となったモノづくりを目指す。】

- ①『働く人達への魅力を感じさせる労働意欲の向上作戦』
新規入場者の顔写真を掲示し仲間意識を高め、職長会の各部の活動を通じて作業員全員の一体感を向上させる。売店の配置による休憩環境の整備・クールダウンルームの設置・施主や家族を交えた懇親会の実施
- ②『作業所独自の見える化の工夫』
作業所通用口にて、作業所関係者の施主・設計監理者・施工担当者が見える化、また朝礼時の各作業員への安全講和状況の見える化、花火大会等イベントを実施し関係者の見える化の実施
- ③『次世代への建設業界の労働環境の改善提案』
作業所内で働く異なる職種の「女性達」の見える化で活躍を支援し女性一体感の向上につなげる。「トリプル100」の独自ルールを導入し作業所一丸のバックアップ体制で休暇取得を実現。打合室掲示物による見える化により社会保険加入への意識向上につなげる。

「金田所長のコメント」

何かあれば全員で手を取り合えるような、一体感のある雰囲気の良い現場である。この仲間たちと「テーマ」を掲げて作業所をつくってきた結果として名誉ある賞をいただいたとらえており、大変励みになる。さらに魅力ある建設業を外部に発信できる作業所として、今後も尽力して参りたい。



第6回(平成27年度)日建連 快適職場表彰の選考結果

No.	表彰名	会社名	工事件名	「快適職場」づくりのテーマ	テーマ設定の理由	「快適職場」づくりの実施事項と効果					
						①		②		③	
						実施事項	効果	実施事項	効果	実施事項	効果
1	最優秀賞	大成建設株式会社	(仮称)MM59街区B区画開発計画工事	みなとみらい地区に広がる海と空の地域と一体となったモノづくりを目指す。	みなとみらい地区に広がる海と空の地域と一体となったモノづくりを、作業所全体で一体となつてつくりあげる環境づくりにチャレンジする。	【働く人達への魅力を感じさせる労働意欲の向上作戦】 新規入場者の顔写真を掲示し仲間意識を高め、職長会の各部の活動を通じて作業員全員の一体感を向上させる。売店の配置による休憩環境の整備・クールダウンルームの設置・施主や家族を交えた懇親会の実施	横浜を代表するみなとみらい地区で、新規入場作業員を積極的に歓迎し、職長会の各部会の活動を通じて、職場環境の意識改革を行い、各作業員一人一人の労働意欲や意識を向上させて作業所全体の一体感を高め、施主や家族、地域に誇れるモノづくりへ展開させる。	【作業所独自の見える化の工夫】 作業所通用口にて、作業所関係者の施主・設計監理者・施工担当者が見える化、また朝礼時の各作業員への安全講和状況の見える化、花火大会等イベントを実施し関係者の見える化の実施	全作業員に対して、関係する施主・設計監理者・施工担当者が見える化、花火大会等のイベントによる関係者の見える化など作業所独自の工夫により、近隣住民に配慮し、作業員のモチベーション・現場愛を向上させる	【次世代への建設業界の労働環境の改善提案】 働く女性の活躍支援の実施・休暇取得のための「トリプル100」(年間休日100日・残業時間100h以内・節目休暇100%取得)の実施・法定福利費や社会保険加入への意識向上支援等の実施	作業所内で働く異なる職種の方「女性達」の見える化で活躍を支援し女性一体感の向上につなげる。「トリプル100」の独自ルールの導入し作業所一丸のバックアップ体制で休暇取得を実現。打合せ掲示物による見える化により社会保険加入への意識向上につなげる。
2	優秀賞	株式会社大林組	八鹿日高道路久斗トンネル工事	土木技術者としての誇りと活力を生み出す職場環境づくり	厳しい施工環境に職場全員で立ち向かうためには、技術者の知恵と創意を凝らした不断の努力が必要である。皆がその能力を最大限発揮し着実に成長する基礎として、健康で明るく安全な職場環境づくりを実行する。	清潔、安全、快適な作業現場づくりの工夫 ①坑内作業環境整備 伸縮風管付大型集塵機の導入、高輝度照明の採用 ②快適で設備の整った現場詰所を設置 ③女性専用休憩室、トイレを現場と事務所に設置 ④元請、下請とも食堂を設置	作業に携わる全員が健康で安全に職務を遂行できることを第一に記載の環境づくりを実行した結果、無事故で健康被害のない活き活きとした職場を現在まで維持できている。 若い女性技術者も常駐し活躍している	就業時間外のプライベート確保と休日取得の推進 ①元請、下請にかかわらず宿舎は全て個室を確保 ②帰宅目標時間の申告と見える化、休日取得を推進し総労働時間を短縮	元請6室、下請31室の個室宿舎を確保 概ね健康で活き活きとした職場の雰囲気も維持できている。 2015年11月末労働延時間17,779時間	社会保険加入促進 ①下請負人に対する健康保険、厚生年金保険および雇用保険加入について本工事の安全衛生協議会をはじめ大林組全社をあげて取組んでいる。 ②一次下請負人と例外なく社会保険料負担を工事内訳に明記した下請負契約の締結を行っている。	現在当工事には、69社の下請負人(二次以下も含む)が従事しているが、健康保険91.3%、厚生年金保険85.5%、雇用保険84.1%の加入率を達成した。
3	優秀賞	清水・スターツCAM・丸山組建設工事共同企業体	安城市中心市街地拠点整備事業情報拠点施設建設工事	「広がる輪」～人とヒト、人とモノ、心と技～	作業所従業員や他部署スタッフ、地域住民等あらゆる人々との交流の中で、「先進的な現場環境づくりへの挑戦」「ものづくりの心と技の伝承」が行われる事業(職場)にしたい。	【ITの活用】 ①タブレット端末導入によるペーパーレス化 ②スマートフォンを用いた検査システムの導入 ③TV会議システムの活用	①図面・施工管理の効率化・環境負荷低減に寄与している。 ②単純操作で検査管理ができ、事務作業の手間も省けるようになっている。 ③音声に加え、映像による通信も可能となり、現場間・本社・支店・営業所との連携がより取りやすくなっている。	①住民と日常的に交流でき、当事業への理解・関心に繋がっている。 ②③建設業や当事業への理解を促す(キャブアート・現場見学会) ③ホームページによる事業PR、工事説明 ④ボランティア活動の実施(週に1度の近隣清掃)	①住民と日常的に交流でき、当事業への理解・関心に繋がっている。 ②③建設業や当事業への理解を促す(キャブアート・現場見学会) ③ホームページによる事業PR、工事説明 ④近隣の景観維持と共に、作業所全従業員で仮囲い外の状態に注意を払っている。	《みんなが働きやすい職場づくり》 ①女性活躍推進(女性用更衣室・トイレの整備) ②週に1度の職長会開催、週に1度の職長会パトロール ③休日取得への取組み(4週6休制)	①女性にとっても快適な職場づくりができています。 ②JV職員だけでなく、協力業者も含めた多様な意見を反映した職場環境づくりの実現に繋がっている。 ③全休日を土曜日もに設定することで、ワーク・ライフ・バランスの実現ができています。
4	優秀賞	五洋建設・大成建設・みらい建設工業建設工事共同企業体	東京国際空港C滑走路地盤改良工事	「人とのつながり・女性進出・新技術導入」で、24時間施工の厳しい工事を完成します!	羽田空港の制限区域内で24時間施工する厳しい工事を、①発注者・職人・家族が記念に残る行事、②女性パトロールの実施、③新技術を導入した社会保険加入勧奨など、様々な創意工夫ある対応で完成させたため。	【発注者・職人・家族が記念に残る行事】 工事の節目である曲がり削孔完了時に、発注者などの関係者で記念撮影をし、その写真をジグソーパズルやQRコード入りQUOカードにして、工事関係者(発注者除く)に配布した。	記念撮影することで、発注者・受注者間の一体感が増し、さらに、パズルやQRコード入りQUOカード制作により、家族も記念に残る行事となった。また、屋形船懇親会の実施や東京湾大感謝祭への参加など積極的に人とのつながりの場を持った。	【女性パトロールの実施】 女性目線で、現場を点検し、かつ、指示するだけでなく、不適箇所があればすぐに現場で女性パトロール隊が注意喚起ポスターを製作し、掲示するなど改善を行った。	女性目線で作成した「女性パトロール点検表」を使用することで、トイレの美しさのこもった餅つきやBBQを実施。連日、現場事務所の整理整頓、分煙の徹底など、職場環境改善につながった。また、工事関係者に現場への女性参入意識を持たせることができた。	【新技術を導入した社会保険加入勧奨・現場入退場管理】 社会保険加入勧奨や制限区域の入退場管理をするため、五洋建設開発の新技術【Color Gate System(HR-14017-A)】を導入した。	当システムを導入することで、社会保険未加入者に対して自動的に加入勧奨するとともに、制限区域への入退場管理、IDカードの貸出状況併せて管理でき、IDカードの紛失も発生しなかった。
5	優秀賞	株式会社竹中工務店	大和ハウス菊名マンション新築工事	～大きな和～ 厳しい敷地環境を工事に携わる全員の和で快適化	高低差の大きい斜面地の作業所にて、動線等厳しい環境の中、女性の活躍・技術の伝承など昨今の課題にも取り組み、作業所全員のコミュニケーションを活性化させ、皆が生き生きと仕事ができる職場づくりを行っている。	多様な人材の活用として、内勤及び作業所女性による現場巡回、ベテラン労働者と若年労働者各々のグループ結成(匠会と若業会)による技術の伝承も視野に入れた双方の特徴を生かした活動等々を行った。また有資格女性職員によるカウンセリング窓口も設置した。	女性目線により、普段とは異なる視点での安全品質環境面等のちよとした気づきが発見できた。技術の伝承に関して、ベテランと若手それぞれが考えていることを共有できたことで理解・連携が深まり、技術のみでなく、職人として生きることも意識も伝承できた。	高低差約20メートルの厳しい敷地環境でも有効活用できないかと考え、斜面地の中腹に熱中症対策も織り込んだ休憩所を設置。近くには花や野菜果物も栽培した。また登り降りでも、どれ程の力りも、気づけば体重の減少に繋がるなど健康意識を高める活動も展開した。	急斜面中腹の休憩所が皆のオアシスとなり、畑での栽培活動と合わせ作業所への愛着意識も高まり、真夏の躯体最盛期に於いても、熱中症患者をひとりも発生させなかった。また辛い登り降りも、互いの名前を下の名前で呼べるようになった。ヘルメットに記載し、意図的に下の名前でも呼ぶ日も設けた。	性別、職種、年齢の垣根を越え、作業所にいる全員が大きな和となれるよう、心のこもった餅つきやBBQを実施。連携を深めるべく綱引き大会も開催した。また、互いの名前を下の名前で呼べるようになった。ヘルメットに記載し、意図的に下の名前でも呼ぶ日も設けた。	各作業員が各会社の枠に留まることなく、同じ作業所で働く仲間としての意識を高め、休憩時や休日にも新たなコミュニティが誕生し、仕事においても互いの安全注意と共に、各職が互いの工程を意識した自発的な調整も行われ、安全かつ円滑な作業所運営に貢献。
6	特別賞	株式会社安藤・間	日本青年館・日本スポーツ振興センター本部棟新営工事	『笑顔ヨシ!健康ヨシ!で安全ヨシ!』	安全作業は健康な体から。笑顔も健康であってこそ。朝礼時の「笑顔ヨシ(顔色ヨシ)」で互いの健康状態を確認し作業がスタートします。安全かつ快適な職場環境こそが笑顔の源と考え、日々改善に取り組んでいます。	【場内施設の充実】・ウォシュレット付洋式水洗トイレ完備・シャワー室、洗濯室、トレーニング器具設置・休憩室(顔色ヨシ)に鍵付ロッカー、エアコン、レンジ、冷蔵庫、電気ポットを設置、また一角にカーペットエリアを設けた・喫煙室設置による完全分煙化の実施	場内のトイレ全てをウォシュレット付洋式水洗トイレとし大好評。休憩室の設備を充実させカーペットエリアで横になることも可能で喜ばれている。完全分煙化したことで執務エリア、休憩室にたばこ臭は無い。事務職からのトレーニング室利用も多い。	【女性が働きたい現場】・「外苑こまち」としてなしこ工事チームに登録・なしこ工事チームでランチミーティング開催・女性専用のウォシュレット付洋式水洗トイレ、女子更衣室をそれぞれ職員用、作業員用と分けて設置	なしこ工事チーム発足に伴いランチミーティングを開催、今後の活動方針等を話し合った。現場沿いの歩道が帰宅時暗いとの声から仮囲いに外灯が設置された。作業員用トイレは1F男性専用2F女性専用と完全分離して、為、気兼ねせずに使えると好評。	【現場の一体感】・現場オリジナルの安全スローガンを募集・発注者現場見学会の実施・毎週水曜日の近隣清掃活動・安全衛生協議会での社会保険加入の促進・職長会ヘルメット作成、職長全員に無線機の装備	自分達で考えた安全スローガンで現場としての一体感が高まった。発注者職員向けに見学会を実施、BIMで見る将来の職場に興味深々でした。毎月清掃活動・安全衛生協議会での社会保険加入の促進・職長会ヘルメット作成、職長全員に無線機の装備
7	特別賞	大林組・橋本店・特定建設工事共同企業体	NHK新仙台放送会館建設工事	安全で心地よい環境づくりを! 全ての人への「おもてなし」の心	「現場で働くすべての人はお客様」という環境創造理念のもと、「女性職員・女性技能者」や「外国人就労者」目線でも心地よい職場環境をつくりたいと考えたため。	若手の現場管理職、事務職、サブコンの女性職員、常設女性職員で、現場での学習見学会『なしこスクール』を定期的実施し、女性が向上心を持ち活躍できる職場環境作りに取り組んでいる。また、女性専用トイレ・更衣室を設置し働きやすい環境を整えた。	学習見学会で習得した知識を各自の業務に活用・反映することで、各職種間の連携・コミュニケーションが円滑になることにも、女性職員の意識・意欲の向上に繋がった。また、女性が現場に出ることで、キメ細やかな視点で現場の問題点を発見することができた。	社会保険加入説明会の実施や事務所・作業打合せ室にポスターを設置することで、協力会社の社会保険加入を推進した。また、外国人就労者の増加を反映し、安全に働ける環境整備に取り組む、現場作業状況図や安全標識と共に並列で英語を表記した。	社会保険加入説明会の実施等により、協力会社の経営者・従業員とも、より安心して働ける職場環境についての意識向上に繋がった。また、外国人就労者への環境整備を実施したことにより、安心かつ安全に作業に取り組むことができるようになった。	建設現場では、厳しい気候の中での作業が続くため、当現場に従事する全員が安全・快適に作業を行える環境を確保すること、全ての作業員が仲よくと体を休められるようになった。また、1回/月で土曜日を全休とする協力会社も少しずつ増加した。	

No.	表彰名	会社名	工事件名	「快適職場」づくりのテーマ	テーマ設定の理由	「快適職場」づくりの実施事項と効果					
						①		②		③	
						実施事項	効果	実施事項	効果	実施事項	効果
8	特別賞	鹿島・三井住友・荒井 特定建設工事 共同企業体	旭川十勝道路富良野市北の峰トンネル工事	トンネル工事現場のイメージの改善	土木3K(きつい・汚い・危険)を改善するために、現場で働く全従業員が力を合わせて、魅力的な現場環境づくりを心掛けていく。作り上げた現場をたくさんの方に見学者に見てもらいトンネル現場のイメージを変えていく。	①労務宿舍の快適化 作業員宿舍は全て個室とし、ベット・テレビを完備した。暖房は火災防止を考慮し、セントラルヒーティングを採用。夏の暑さ対策として全ての部屋にエアコンを設置。インターネット環境を整備するため、無料の無線Wi-Fiを設置した。	遠方から赴任し、昼夜2交替で作業しているトンネル技能者にとって、生活の基本となる住居として重要な場所である。個室にすることでよりプライバシーが守られ、冷暖房も完備されているため快適な空間となっている。無料の無線Wi-Fiも好評である。	②現場見学会の開催 円形ウォータータートトンネルを施工しているため近隣住民や各機関からの現場見学会が多数あり、全てに対応している。約100回開催し、約2000人が来場。小中高大学生、地域住民、各種団体より多数の方々に参加していただいた。	多数の見学会を開催するため、現場内は常に整理整頓を心掛ける雰囲気ができ、安全作業にもつながった。見学会では工事への理解を頂くと共に、近隣住民と良好な関係を築き、トンネル工事のイメージアップを行うことができた。	③現場の見える化 トンネル内の危険をいち早く察知するために、『光る計測装置』、『切羽ウォッチャー』等を現場に取付け、切羽作業を行う作業員がトンネルの変位状況を確認できるようにした。又、坑内照明にLED照明を採用した。	最先端の技術を現場で採用する事により、危険をいち早く察知することが出来るようになり、切羽作業を行う作業員の安全意識の向上につながった。また、省電力なLED照明を多数使用することによりトンネル坑内が明るくなり、安全作業につながっている。
9	特別賞	熊谷・ユーディケー・二友組 建設共同企業体	東大和市清原一丁目地内から同市桜が丘三丁目地先間送水管(2000mm)用トンネル 築造及びトンネル内配管工事	JV職員、作業員の一体感ある職場、清潔感ある現場環境作り	JV職員と作業員がチームとして一つの仕事に取り組むことを目指すことと、現場で働く人たちが気持ちよく働ける現場環境を目指した。	女子更衣室設置、更衣室内のウォッシュレット付女子トイレ設置、また現場内のトイレは男女別々の入口としたウォッシュレット付女子用トイレ(JV用及び作業員用それぞれ)を設け、女性が安心して働ける環境を整えた。	今年、女性新入社員が当現場に配属されたが、更衣室内にトイレが設置されていることの評判がよかった。また、女性社員からは女性からの視線で色々アドバイスをもらい、女性が使いやすい更衣室にアレンジしてもらった。	JVと職長会で話し合い、JV職員及び作業員が「チーム清原」として一体感を持つための個人名、現場名入りのつなぎ服を製作し、現場で同じつなぎ服を着用して仕事に励むようにした。	作業員からも非常に好評で、この現場が終わっても職員、作業員と同じ現場で働いたということが形として残せることや、別の現場でもこの現場にいたということが一目でわかることなどが効果としてあったと思われる。	部外者の人も現場のトイレを安心して気持ちよく使ってもらえるように、トイレに入る際は土足からスリッパに履き替えるようにしたことや、ウォッシュレット付等にしていつも清潔で使いやすいトイレとした。	現場のトイレという汚いというイメージがなかなかぬぐえないところがあったが、今回は最初から清潔なトイレということを意識させたため、職員用、作業員用トイレ共、常に清潔にする意識があり、それを維持できていることが効果としてある。
10	特別賞	大成建設 株式会社	法政大学(市ヶ谷) 55・58年館建替工事	【明るい作業空間と若手とベテランの共通意識の構築】	人手不足の建築業界で、【仕事のやりやすい現場環境の提供】と【若手とベテランのコミュニケーションの活性化】によって【若手のスキル・アップ】と【安全意識の向上】を目指した「快適職場」を作る事を目標とした。	【快適な作業場施設の設置】 現場全体の仮設照明を増設し、現場の雰囲気を実質的に明るくした。	明るい作業空間を作ることで、足場上や狭い空間、暗くなる時間帯での円滑な作業や現地打合せができ、作業効率の向上に繋がった。また、隅々まで見渡せる環境作りを行った事で、日々片付け状態が明確になり安全な作業場作りの意識づけに繋がった。	【社員と作業員とのコミュニケーション活動】 熱中症予防の意識向上の為に体温を低下させる塩もみキューリやかき氷の配布、安全意識向上の為に安全指導員による伸び馬・天台の講習会を行った。	各講習会やイベントを通じて、安全への意識向上と若手とベテランの作業員・社員間のコミュニケーション活性化が計られ、技術向上に繋がった。	【常設写真展の設置】 着工から安全と作業員間のコミュニケーションを意識している仲間の写真や家族の写真が掲示した。	着工時からの安全意識する仲間の姿勢や家族が見つめている写真を場内に掲示、これらを見る事で現場の仲間意識と安全意識の向上に繋がった。
11	特別賞	株式会社 竹中工務店	大阪府立 成人病センター 整備事業	関係者一丸となった「チーム成人病センター」による「人・物・時間を大切に」する快適安全職場作り	「チーム成人病センター」人、物、時間を大切に」の2つのスローガンの下、当作業所に関わる関係者が一丸となって、快適かつ安全に作業することができる環境を整備し、誇りと愛着を持つ作業所を目指したため。	■関係者全員が一丸となった作業所を盛り上げる取組み ①活気を出す声掛け隊 ②季節の飾りつけ(クリスマス等) ③建築中や関係者の思いを載せた作業所新聞 ④安全表彰推薦制度 ⑤慰労会(胸相撲大会等)、キャンペーン(家族写真等)実施	スローガン「チーム成人病センター」の下、関係者並びにその家族が一体となり、皆で作業所を盛り上げる雰囲気が出来た。また、様々なイベントやキャンペーンを通じて思い出を共有し、作業所への愛着や関係者間のコミュニケーションを育むことができた。	■老若男女が快適に働ける職場作り ①仮眠室、マッサージ機設置 ②空調完備休憩室、シャワー室、飲料飲み放題等の熱中症対策 ③女性チーム主導の女性作業員環境改善 ④社会保険加入徹底(未加入会社とは取引不可) ⑤適時土曜全体実施、残業ゼロの日奨励	スローガン「人、物、時間を大切に」の下、仮眠室、マッサージ機等の休憩室、飲料飲み放題等の熱中症対策、女性専用施設の充実等、老若男女問わず快適職場が整備された。また、社会保険加入徹底や土曜全体実施など建設業界特有の課題にも積極的に取り組んだ。	■創意工夫を凝らした安全面や関係者の見える化 ①動画ディスプレイ活用(安全啓蒙、場内交流活性化) ②年末無事故カウントダウン ③オリジナル動画によるラジオ体操見える化 ④作業所ルール見える化(場内掲示) ⑤作業所入口に安全啓蒙人形設置	創意工夫を凝らした様々な安全見える化への取組みを行うことで、安全面が確保され、快適な職場作りへと繋がった。また、取組みに際しては関係者が自発的に参加したり、取組自体が話題となることで、関係者間のコミュニケーションの活性化を図ることもできた。
12	特別賞	竹中工務店・大林組・前田建設工業 共同企業体	小野菜品工業 水無瀬新研究棟 増築工事	『建設業の魅力を伝える活動』で『やる気が漲る』快適職場作り	他に無い『魅力ある活動』を積極的に展開することで、やりがい直結し、更に、仮囲い外にも活動を広げることで、子供達を含む全てのステークホルダーに建設業界の魅力を伝え『将来の入職者の増加』をも目指した。	■主役は作業員！『士気高揚のための取り組み』 ①愛情あふれる掲示(ありがとう、日本一のRAKY) ②思い出づりの機会提供(家族見学会等) ③感謝の気持ちを見える化 ④建物機能を体感 ⑤女性の積極登用・土曜交代休暇・社会保険加入キャンペーン	作業員の士気高揚を一番に考えた積極的な仕掛け(取組)をすることで、彼らのやる気・やりがいを向上させた。一日の大半を過ごす作業所を、ハード面だけでなくソフト面でも充実した環境とすることで、いつまでも心に残る思い出深い作業所となった。	■近隣とのコラボ！『子供達をターゲットにした地域貢献活動』 ①季節感あふれるメッセージボード ②保育所・小学校との交流(見学会等) ③子供110番の家に登録 ④町イベントへの参画(イルミネーション、献血等) ⑤地域に緑を(通学路に植樹等)	小学校の通学路と保育所のお散歩コースに面した地域特性を活かした取り組みにより、建設業界のイメージアップに直結し、将来の入職者が増えることを期待している。その目的を職長・作業員が正しく理解することで、やりがいと感じて積極的に活動した。	■団結こそ喜びなり！『一体感溢れる全員参加型職長会・絆』 ①仲間意識の向上(ヘルメット・手帳等) ②緑あふれる作業環境づくり(水無瀬農園等) ③職長会からの表彰 ④挨拶運動の推進 ⑤記念撮影会	職長会メンバーが家族のように『絆』で結ばれ、全員参加で活動する雰囲気が浸透し、作業員全員の一体感が生まれた。生活空間の一部として作業所を位置づけることで、作業所に対する愛着心も格段に向上し、安全・品質・環境も高レベルな仕事に繋がった。
13	特別賞	株式会社 竹中工務店	ささしまライブ24地区 グローバルゲート 新築工事	地域に配慮し、女性にも優しく、作業所で働くすべての人が誇れる、笑顔のある、魅せる作業所作り	作業所で働く皆さんが誇りを持って笑顔で働ける職場作りを皆で行うため、女性の意見も取り入れた美しい現場づくりと地域の方々や来訪者に何時でも見て頂けるような魅せる作業所の実現を目指した。	【女性を迎え入れる環境整備と現場の見える化】①更衣室・トイレ等の男女分離と6S※運動実施②異業種や学生等への作業所見学会、協会の入職促進見学会を実施③iPadを活用した施工の見える化④事業主に毎月安全衛生協議会で社会保険加入説明会を実施	多くの作業所見学会や協会会社のリクルート活動等支援も実施し、最新の建設業の取組(3D CAD等技術や女性活躍等)や女性も安心して働ける現場の美しさを理解してもらうことができ、建設業のイメージアップと協会会社の人材確保に貢献できた	【活発な職長会活動による作業所の一体感を創出】①バンタインデーに交通安全・健康喚起活動を実施②夏期に熱中症撲滅活動を実施③環境整備の美しさを理解してもらったこと、建設業のイメージアップと協会会社の人材確保に貢献できた	夏期に朝昼2回職長会や所員で現場巡回し健康飲料を配布したり、現地にミスト扇風機やテント設置等により、1日350名以上の作業員が熱中症にならない人はいなかった。また冬期に設置したイルミネーションが近隣の評判になり、作業所の誇りにも繋がった	【合理的な工事計画による施工・職場環境(休日取得)の改善】①市と協議し地下山留をバックアンカー工法に変更②構台の最小化や地下RC梁のPCa化③等により工程短縮・省人化・省力化④これらの活動による所員や作業員の休日取得・時短の啓発活動へ展開	地下工事の簡略化により快適な働きやすい施工環境を創出し、搬出入車両を400台以上削減して地域環境に貢献。工期率79%の短工期だが、日曜全体土曜1回以上閉所(別に近隣休日要望日有り)を実施し、日々の時短運動に作業所全体で実行中である
14	特別賞	渋谷駅南街区 プロジェクト新築工事 共同企業体 (東急・大林 建設共同企業体)	渋谷駅南街区 プロジェクト 新築工事	男女問わず長く働き続けられる清潔で快適な作業員休憩施設の提供	建設業においては技術者・技能労働者の不足が顕著となっている中、女性技術者・技能者の活躍が期待されている。3Kと言われ続けている業界で男性も含め、長く働き続けられる快適な施設の提供が必要と考えた。	現場敷地内に作業員休憩所を設置し、清潔な休憩室、トイレ、シャワールームを整備した。又、「南街(みなみまち)ステーション」という名称を付け、休憩所に売店を設けるなど、現場のシンボリックな施設とした。	作業員休憩所の一部を女性専用とし、更衣室、シャワールーム、パウダースペース等の機能を充実させ、建設現場から清潔に身支度できる環境を整え、女性労働者の活躍をサポートできる施設とした。	協力会社の協力もあり、女性技術員、女性技能者の働く割合も徐々に増えてきた。また、社内外の見学者も増えてきており、今後の女性活躍推進のPRにもなっている。	作業員休憩所の一部に職長会室を設け、協力会社間や元請との隔たりを越えてコミュニケーションがとれる場とした。	工事工程、安全管理等に関する打合せが密に行われるようになり、安全管理や作業効率の向上に繋がっている。	

No.	表彰名	会社名	工事件名	「快適職場」づくりのテーマ	テーマ設定の理由	「快適職場」づくりの実施事項と効果					
						①		②		③	
						実施事項	効果	実施事項	効果	実施事項	効果
15	特別賞	戸田建設株式会社	高崎市新体育館建設工事	自分が働く職場を創るのは自分達。自発的に活動し発信している。	快適職場は元請けによって作られるものではなく、そこで働く人々が皆で力を合わせて作るものだというコンセプトで、元請けと職長会が協同した自発的な快適職場作りに取り組み建設業の魅力を発信していきたい	【安全で効率的なインフラ環境の整備】 ①敷地3方が鉄道と隣接する敷地に、私鉄を横断する仮踏切を設置するなど2ヵ所の出入り口を追加設置し、資機材搬入出の大幅な効率化を図った。 ②協力会社作業員の社会インフラ確保のため、社会保険加入を促進した。	①1ヵ所のみ出入り口で大幅な制限を受けていた動線計画が大幅に緩和され、安全な作業環境の確保が達成された。②1次協力会社の加入率は100%、全作業員の加入率も71%に向上し、事業主・作業員の相互信頼・処遇改善が図れた。	【一体感のある全員参加のコミュニケーション】 ①職長会と協同した清掃活動、BBQ・もちつき大会、特別教育、運動部サークル(フットサル・ホーリング他)の開催 ②プロカメラマンによる働く皆の毎月の写真撮影と集合写真撮影	①活動内容は職長会掲示板や職長会便りに掲載し、全作業員が興味を持って自主的に参加することで一体感のあるコミュニケーションが形成され、作業上のトラブルも皆無である。②プロカメラマンによる撮影写真は臨場感に溢れ、家族にも見せたいと好評である。	【働く喜びと建設業の魅力を発信】 ①外部団体による見学会等の依頼には極力対応し、報道記事等による建設業の魅力発信に努めている。②敷地と並走するJR・新幹線乗客に対して、イルミネーションを設置し、施設と明るく就労環境をアピールしている。	①BCS「けんせつ小町」、建通「次世代を担う」他の報道記事に対する反響からは建設業の魅力について第3者へのアピールができたと思われる。②新地と並走するJR・新幹線乗客に対して、幹線(上越・長野・北陸)乗客や同業者・住民からの期待や感想が寄せられ、そこで働く喜びを実感した。
16	特別賞	株式会社長谷工コーポレーション	(仮称)吹田千里丘A街区新築工事	「美しい現場 長谷工にプライドを！」全員参加で安全・品質・環境確認	作業所運営方針「すべての工事従事者が自分の仕事(安全・品質・環境)の出来に後悔しない」というクラフトマンズプライドで、快適職場環境の企画・運営・維持を各棟別の委員会が主体となり全員参加で実践。	①憩のエリア 一つの共同帯を形成するために全員集合可能な独立した憩のエリアを設置。作業員のコミュニケーションを図る場所としての要素を配置し、千里丘Aを創り上げていこうというコミュニティの形成を目的とした。そのため中央に憩いの広場を設けた。	いろいろな施設を1つのエリアにまとめた効果により、ほぼすべての作業員との直接交流ができ、職長会一体の現場運営において多大な効果があった。また、憩の広場は安全大会他いろいろな催しを含め安全衛生活動の拠点となり上記の共同帯が形成された。	②作業エリア 基礎工事時から職長会と一体となり設備の改善を図っていった。広い敷地のため大きなサインを設置、歩車完全分離の安全通路を整備し各棟への通路とした。作業エリアは棟別の環境委員会の委員が管理して5Sの維持管理を実践。	場内入口・出口の大きなサインが気持ちの切り替えを促し、また、2m×3mの大きな場内案内板・職長会掲示板を見て、維持管理された歩車分離の安全通路(壁に安全掲示物等を貼付)を通ることで各作業員の安全衛生管理意識の向上に繋がられた。	③まずは心と体の健康管理からの管理は①の憩のエリアで。体の管理は血圧測定を実施。いつでも測定できるように配慮した。またAEDの取り扱い講習・心肺蘇生講習も行い、緊急時に誰でも対応できるよう対処した。	新規入場時の血圧測定はもちろん、日々の健康管理のために血圧測定を推奨したため健康状態が把握でき危険作業時の適正配置に役立った。また、職長への緊急時の対応講習は現場内にとどまらず、どこで遭遇しても対処できるという事で非常に好評であった。
17	特別賞	株式会社長谷工コーポレーション	(仮称)大田区西六郷(西・東敷地)計画新築工事	『次世代に継承出来る現場環境』を、チーム力を結集し築き上げる	現場作業員の高齢化及び現場離れが懸念される昨今、若い世代・女性に魅力を持ってもらえる現場作業環境を築き上げ、次世代に継承していきたい。	【働きやすい環境づくり】 快適な職場を自ら構築を目的に、職長会パトロールによる意見を反映した。また、夏季においては空調服の着用を促進、熱中症予防講習会開催による熱中症の未然防止、コミュニケーションツールとして伝言板の活用を図った。	職長会パトロールの定期実施により、安全・環境ともに発展的改善を続けている。又、様々な熱中症対策も功を奏し、今期については熱中症者を出さず、今夏を乗り切った。更に「伝言板」活用により、現場環境の維持管理、改善がスピーディーに行われた。	【休暇を取りやすい環境づくり】 所員、作業員共にメリハリのある休暇取得を目的に、会社展開として年5日の統一土曜一斉閉所日を設定。更に所員については、「休む」は「仕事の一部」という営業活動及び休暇表を作成し、休みやすい環境づくりを展開した。	統一土曜一斉閉所については、協力会社への事前通知もあり、5日全て実施できた。また、現場独自に「勝手に閉所」を設定し、今年は更に1日土曜閉所を実施した。所員の休暇取得についても、休暇表の早期作成等により、予定通り休日取得できている。	【女性が活躍しやすい環境づくり】 当現場に配属の女性所員2名を中心に「ウルトラ小町」チームを結成。「小町会議」を適宜開催、女性視点での環境改善、発展に努めるとともに、女性専用休憩施設「小町ルーム」を設置し、働きやすい環境をサポートしている。	「女性視点による資材の重さ検証」の取組み結果の一例として、区画用バリエードを4m→2.5mに変更し反映している。また、「小町ルーム」については、共同休憩所より難して設置したことにより、「安心して休憩できる」と好評の声が聞こえている。
18	特別賞	清水・熊谷・東洋・竹中特定建設工事共同企業体	平成27年度大熊町復興拠点除染等工事	除染工事で働く全ての人々が、安全と安心を感じながら仕事にできる環境づくり!	原発事故の影響による放射線物質を取り除き、地域の方々の安心を取り戻していく作業の一方で、この工事に携わる全ての人達の安全と安心を守る。	震災の影響でインフラが未だ復旧されておらず、水道水を飲料用として使用することができない。そのため現場事務所、作業員詰所にウォーターサーバーを設置しその確保に努めている。(作業員数 1,500人規模に対応)	除染作業の性質上、施工区域の近隣にコンビニ等もない。通常の工事現場とは比較にならない作業環境のため、ウォーターサーバーの設置はやや高価ではあるが、その効果は絶大である。	男女別の更衣室・トイレ・休憩室を離れた場所に設置し、女性も安心して働ける設備の充実を図る。	女性用の設備は施設管理していることもあり、常に気兼ねなく安心して働けることが出来た。	法令条件の範囲内でも、3ヶ月に1度は内部被ばく線量測定(WBC受診)を全ての作業員や事務所員に実施している。また退所直前に一般・電離健診等を受診していても、退所時には改めてそれらを実施してもらっている。	短い期間で自分の身体の状況を把握してもらうことにより、工事に従事している期間はもちろん、工事を離れる際にも安心してもらうことが出来た。
19	特別賞	株式会社竹中工務店	竹中工務店反町竹友寮新築工事	魅せる腕前、心意気! こどもたちに夢を!	毎日現場を興味深くのぞく子供達に、建設業界に興味を持ってもらい、将来当業界を目指すきっかけになることへの期待と、子供達との交流を通して、各職技能者の意識向上を狙いとして様々な活動を行った。	隣接する保育園や、接道を通学路とする近隣小学校の子供達に対して、仮囲いの中で汗して働く職人には多様な職種があり、それぞれのプロが、力を合わせて建物ができることを、職種別腕章と看板を掲示し情報発信した。また、実走した工事車輛の看板も掲示した。	足を止めて看板を見たり、透明仮囲いから興味深く中をのぞく子供達の姿がうかがえ、保育園、小学校の責任者からも大変感謝された。また、各職の解説看板を朝礼で説明してから掲示することで、各作業員の意識(仕事への誇りと責任感)を高めることもできた。	現場は閑静な住宅地にあり、敷地が狭いことに加え、保育園に隣接している。更に接道が通学路となっていることから、登下校時間にかからない限られた時間でコンクリートを打ち終えることができる工区割を検討、また、保育園児の午睡に配慮し昼休憩をずらした。	上記に加え、近隣配慮とこれからの建設現場のあり方を意識して、積極的に作業所全休日を設け、これら近隣配慮の姿勢により工事を円滑に進行することができた。作業員に対しては休日取得を奨励し家庭を顧みる機会が与えられたことで各方面から好評を得た。	子供達に恥じない振る舞いで腕前を魅せるには、作業員のチームワークが肝要であり、朝礼時は肩もみサークルの姿勢により工事を円滑に進行することができた。作業員に対しては休日取得を感じてもらえるように、仮囲いに季節毎の飾りつけを皆で行った。	肩もみサークルでは、毎日皆が顔を見合わせることで、体調の確認をすることもできて、熱中症や体調不良を原因とする事故も防ぐことができた。飾りつけは近隣からの評判も良く、皆もその反応に一喜一憂し、益々近隣配慮の姿勢を向上させることに繋がった。
20	特別賞	松井建設株式会社	広島大学(霞)臨床研究棟改修工事	働く意欲の湧く職場の創造	当作業所に携わるすべての人が何か工夫をして、最良の建物を作る意識を持ち、仕事に取り組める様な環境を整える為	当作業所は大学病院構内であり、敷地内全てが禁煙となっているが、喫煙者も存在する為、工事関係者の喫煙所として敷地外の一室を賃貸した。	構内の作業員休憩所を禁煙とした為、休憩所が快適な空間になりました。作業所に灰皿等がなく、不始末による火災の危険性もなくなりました。また、近隣(大学関係者)に対し環境活動としての社会貢献アピールになったと思います。	トイレの整備:トイレ・水廻り・通路の整備を行いました。常に清潔に保つことにより、精神的にも落ち着いて作業に入れます。又、女性の働きやすさを考慮し女性用トイレに仕切りを設けました。	清潔なトイレを使用し、清潔さを保つことが、他人への思いやりにつながる。そこから、よい仕事につながります。又、作業所へ来場する人に対しイメージアップになりました。	工期を通して休憩所の整備を行いました。・エアコンの設置・日よけの設置・冷水器・製氷機の設置・グリーンカーテンの設置・冷蔵庫の設置・扇風機の設置等	作業開始前や、作業間の休憩に作業員休憩所を使用し、落ち着いてから次の作業に取り掛かることができます。災害防止の役に立ったと思います。